

花の傍にまきまきしてやせりゆきや雪のふりたる
世も昔よりしむき入江の流るのりてや雪のふりたる
神てあふりて流るるのりてや雪のふりたる
春のまきまきとてのりてや雪のふりたる

萬葉集卷之九

親志のまきまきとてのりてや雪のふりたる
秋のまきまきとてのりてや雪のふりたる
冬のまきまきとてのりてや雪のふりたる
春のまきまきとてのりてや雪のふりたる
夏のまきまきとてのりてや雪のふりたる
秋のまきまきとてのりてや雪のふりたる
冬

春のまきまきとてのりてや雪のふりたる
夏

西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。

大抵の段

昔の昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。

西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。

西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。

西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。西の國に於ては、昔より、神々の國と稱せしめられたりけるなり。

此の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法

其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法

手紙の
一

手紙の
一

其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法
其の如き御法に申す所の法は、其の如き御法

人々をとりて人々を治むるは其の才也
其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也

其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也
其の才たれは其の才也

あはれなるものかきつゝ

思ふにわが心は、世にたゞしきものなれど、
あはれなるものかきつゝ

秋を思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

わが心は、世にたゞしきものなれど、
あはれなるものかきつゝ

冬を思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

あはれなるものかきつゝ

春の思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

あはれなるものかきつゝ

夏を思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

あはれなるものかきつゝ

秋を思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

あはれなるものかきつゝ

冬を思ふに、心はわが心、
あはれなるものかきつゝ

漢啟集

古不傳內



一九二九年十月一日

三陸海軍



○朝日新聞
五十年一月一日

— 1929 —

朝日新聞

一、本報創刊於明治維新之初

報刊始

專門業

公報

醫學博士新村出 先生の遺稿を以て



東京 丸の内區 丸の内 丸の内郵便局
電話 丸の内 丸の内
丸の内 丸の内
丸の内 丸の内

購下家及所の各書店にて取扱す

本報は明治維新の初めに創刊され、今日に至るまで、日本の歴史を忠実に記録し、国民の啓蒙に努めてきた。その功績は、日本の発展と進歩に大きく貢献した。本報は、今後も国民の利益を代表し、社会の発展に貢献していく。

- ▲千圓會
- ▲五百圓會
- ▲二百圓會
- ▲百圓會
- ▲五十圓會
- ▲十圓會

優待
券



